



扶桑管廟最初
防府天満宮
佐加太利とは御鎮座地
天神山の古来名「酒垂
山」からとったものです



▶開館を待つ入場口風景

この度は「防府天満宮展」を無事終えることができ、主催頂きました山口県立美術館並びに関係機関またご来館頂きました多くの皆様に対しまして感謝申し上げます。



▶当宮に全巻揃った

『松崎天神縁起絵巻』
(軸は保存修理により太巻きに改装
されました)



▶防府天満宮の社殿全景(今秋)

『松崎天神縁起絵巻』七〇〇年記念

「日本最初の天神さま」

「防府天満宮展」を終えて



防府天満宮 宮司 鈴木 宏明

一般に縁起絵巻はそれぞれの神社仏閣の由緒や靈験を広く一般民衆に
絵解きするために繰り返し利用されてきました。ところが本縁起の奥書
には「この絵巻を拝観したい者は、参詣して拝殿に於いて之を開かなく
てはならない。どんな人の命令であっても神社より持ち出してはならな
い。もしこの掟を破る者がいたならば太政威徳天の神罰が身に降るであ
ろう。」と、この絵巻の持ち出しを強く戒めています。これはどうい
うことなのでしょう。

防府天満宮の創建由緒は『松崎天神縁起絵巻』に初めて登場します。
当宮創建に係わった土師氏の末裔である国司土師信定は、当宮が平安時
代の末には公的に「当国守護」として認められていたにも係わらず、応
長年間に至るまで由緒を記す史料がなかったことを憂い、特に当宮独自
の縁起を付加した『松崎天神縁起絵巻』を制作し、絵巻を通してその創建
の歴史を確実に後世に伝えることが、天満宮と一族の更なる繁栄の基と
なることを門外不出としましたのであります。

本年絵巻制作七〇〇年を迎えるにあたり、絵巻は保存修理され、また
東京・京都の国立博物館からの寄託解除により全巻を当天満宮が所蔵す
ることとなりました。そして本展を終え絵巻が本殿に納められた今、門
外不出に秘められた使命を継承することこそが、未来へと続く「防府天
満宮の菅公精神」の道を照らすものと、信定の心に心を重ねその責務の
大きさを実感しています。

没後百年〜隠れた維新の英雄〜
榎取素彦男爵と防府天満宮

はじめに

幕末から明治にかけて大活躍した一人に榎取素彦と言つ人物がいる。

しかし、歴史小説に登場しなかった為か、残念ながらその名を知る人は少ない。平成二十四年は没後百年にあたり、防府天満宮にも大きな足跡を残した彼の功績を紹介したい。

榎取素彦は、文政十二年（一八二九）萩に生れる。藩校明倫館に学ぶ。吉田松陰とは深い親交があり、松下村塾で指導し、松陰の妹と結婚している。幕末は藩主毛利敬親公の側近として活躍し、幕府との交渉役また、西郷隆盛や坂本龍馬等と共に薩長同盟を推進、明治維新を迎えた。新政府では伊藤博文らと共に最高位の参与職に就くが、藩主からの頼みで毛利邸建設計推進の為、三田尻管事務役（市長役）として来防。その他、初代群馬県令、元老院議員、宮中顧問官、貴族院議員、貞宮養育係を歴任。明治二十年男爵。大正元年八月十四日、防府の地で没す。享年八十

四歳。葬儀には勅使が遣わされる。

防府天満宮での足跡

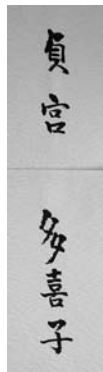
① 貞宮遙拝所



榎取は、明治三十年明治天皇第十皇女『貞宮多喜子』内親王の御養育主任を命ぜられる。しかし、内親王が僅か三歳で夭折。御遺物を譲り受け、明治三十二年これら

を納める『貞宮遙拝所』を当宮境内に建立。毎年一月十一日（ご命日）遙拜式が厳かに行われている。御遺物の内容は次の写真の通り。

◀御命名宸翰（明治天皇直筆）



▲御剣



▲御写真（ガラス原版）



▲御守袋

② 天神山緑化事業

当宮裏山の天神山は江戸時代、藩有林で管理保護されていた。明治には県有林となり管理が行き届かず、木々は生活燃料として次々と伐採され荒廃。天神山を緑化する為に造園会総裁として緑化に務めた。



▲明治末期



▲現在

③ 千年式年大祭

明治三十五年当宮千年式年祭では総裁を務め、五十七段の大石段

とその両脇にある石垣を造営するなど大事業を成し遂げた。



④ 天神本地観音堂

右田・日常寺（現廃寺）より、当宮境内の観音堂を残そうと明治三年三田尻部署の榎取宛に訴えがなされ、これを認めて、現在に至る。



廃仏毀釈を免れた唯一の仏教寺院となる。

おわりに

当天満宮に功績を残された榎取素彦男爵は天皇を崇拜し、「至誠」を旨とする人物であった。前記外にも下賜金をもって野村望東尼の墓を建立する等、これらのことを成し遂げられたのは、当時此地の天神信仰の高まりの中で、榎取の思いが道真公への崇敬の念へとつながっていたからに他ならない。

崇敬会だより

設立十周年

皆様の厚いご崇敬に支えられ今年で満十周年を迎えた崇敬会も、現在会員数千八百七十五名、家族数五百四十五件となりました。

未熟な運営ではありますが、毎年の崇敬会大祭、総会、研修旅行など、会員の皆様とさまざまな御縁を結ばせて頂きましたこと、改めて感謝を申し上げます。

先日、ある市内の会員の方と社頭でたまたまお会いし、折角なので、ご一緒に境内散策させて頂きました。ゆっくり歩きながら、梅や牛の話に始まり、そこかしこに残る明治維新と天満宮の関わり等の話をご説明すると「こんなに近くの天神様なのに、知らないことばかりね」と興味深く聞き入って下さいました。いつでも職員にお声掛け頂いて、天満宮をもっと身近に感じて頂きたいと思っております。

これからも、職員一同心新たに一人お一人のお気持ちを大切に

ご奉仕させていただき、崇敬会に入会して本当に良かったと思っただけけるよう、皆様の「心のふるさと」として頑張っ参る所存でございますので、会員皆様の多数のご参拝を心からお待ち申し上げます。

(担当 権禰宜 一木孝史)

新規会員紹介 (敬称略)

平成二十三年五月六日以降入会の方々です。

永年 宇野 好一 防府市宮市町
 家族 (株)タイド・通商 防府市古祖原
 多賀 契夫 下関市彦島追町
 眞平 稔 防府市田島

荒瀬 正和 東京都世田谷区赤堤
 徳本 良雄 防府市岩畠
 大谷 盛彦 広島市中区橋本町
 殿迫 幸二 広島市安佐南区高取北
 山永 章二 防府市中泉町
 木原 素行 宇部市西本町
 梅津 穂 鳥根県益田市美都町
 梶島 廣昭 防府市田島
 築瀬 満良 防府市自由ヶ丘
 岡本 康人 防府市新田
 藍原 正甫 美祿市於福町東中村
 本田真由美 防府市下右田
 中村 久美 鳥根県浜田市浅井町
 江頭 元子 鹿兒島県志布志市上原町
 矢田部元宏 防府市新田
 村上 功 防府市高井
 松浦 友子 山口市大内矢田
 原 美津江 防府市中泉町
 藤井 篤子 防府市迫戸町
 大下 登 防府市高倉

個人

寄稿 崇敬会永年会員 佐伯勝太郎

「天神様の御加護」

防府天満宮お朔日参り恒例の「朝粥会」に参加させて頂いております。宮の朝には四季それぞれ色彩の変化があり、感得あらしめられる参拝です。

「町並みは昼寝か介護音もなし」

こんな句が生まれそうな高齢者ばかりで会うこともありませぬ。そんな或る日、近所の人に会い開口一番「後向歩きをしないで。ウオーキングよりも良いですよ」あ

つ、これは天神様の御加護によってお告げを受けた人の口を介してご指示されたもの」と直感しまし

た。早速実行し、三ヶ月位続けました。早速実行し、三ヶ月位続けました。早速実行し、三ヶ月位続けました。早速実行し、三ヶ月位続けました。

え、腰の具合もよくなりました。(正座はまだできません)。足もすっかり地につき、充分使うことが出来るようになりました。これも

な「天神様」に救われたのです。神様を拝むということは心が救われることだと思っております。必ず助けて下さるのです。

平成二十二年二月二十二日、数字の語呂もよく、ものの兆しがあったと受け止めたことがあります。

す。妻が骨粗鬆症で入院し神経不安症になり「これではいけない」と思い、体の関節各部位を指で強く押し揉み、刺激を与え続けました。そうしたこの日(二月二十二日)突然「痛い！」と声を出したのです。後日、散髪店主から「揉まずに擦れ。血管が老化しているので良くない」と言われ、これは神様のお声だと聞きました。

「後向歩き」も「痛い」の声も信仰の力を信じ、救われたものと思っております。

物心つく頃より母から欽仰の念を起さしめる教育を受け、信仰悦服の心が得られております。小学生の頃、天神様に図画を書きに行きました。柏手を打って「アイ」と言う拝み方だけで境内を走り廻りました。この雰囲気と気分の良さが体に宿り、こうした場所、環境が長ずるに違和感もなく「神道」というものに心が向くようになり、環境が人を育てたものと思っております。恐れ多いことですが、いつでもどこでも拝詞を御誦読

しております。

蔽へ給へ清め給へ 守り給へ幸へ給へ

けております。

御誦読

御誦読

御誦読

御誦読

御誦読

御誦読

御誦読

御誦読

御誦読

御誦読

御誦読



山口県立美術館の『防府天満宮展』を終え、いよいよ『松崎天神縁起絵巻』が全巻、当宮へと帰って参りました。松崎天神縁起絵巻七〇〇年記念プロジェクトの集大成をリニューアルされた当宮歴史館に於いて、『続・防府天満宮展』というかたちで、皆様にお披露目致します。本家本元の天満宮で観る絵巻はまた格別のもがあると思います。防府天満宮展を



当宮宝物館 歴史館改装オープン
『続・防府天満宮』展 開催
 平成二十四年一月一日より

観てもう一度見てみたいと思われた方、借しなくても見る事が出来なかつた方は、平成二十四年元日より開催されます本展覧会に是非ご来館下さい。



・梵鐘 (写真上)
 ・三季天神像 (写真中)
 ・渡唐天神像 (写真左)

展示内容のご紹介
 松崎天神縁起絵巻を始め金銅宝塔・梵鐘・大日如来像・鎧三領を展示。特に、三季天神像は密教系寺院で用いられた自画像の一つで全国でも五点しか確認されていない珍しいもので当宮に三点奉納されています。三季とは、太宰府へ配流される途中から覺去されるまでの三年間という意味とされている。

明治維新室開設

歴史館リニューアルに伴い、歴史館顧問一坂太郎先生監修の元、明治維新室を併設致しました。記念すべき最初の特集は、『高杉晋作と天満宮』と題しまして縁の遺墨を中心に晋作の人間の成長を紹介致します。
 一坂先生所蔵(春風文庫)の品も多数あり期間限定にて展示致しますので是非ご覧ください。



明治維新室展示予定

- ・高杉晋作と天満宮 一月一日～五月六日
- ・楫取素彦と天満宮 五月七日～九月一日
- ・伊藤博文と天満宮 九月二日～十二月三十一日

開館日 年中無休

※場合によって閉まっている際は授与所の巫女にお声をお掛け下さい。

開館時間 九時～十六時三十分

入場料大人五百円(団体二十名以上四百円)
 ※高校生以下無料

『防府天満宮』展 開催

松崎天神縁起絵巻七〇〇年を記念した『防府天満宮展』は、お陰様にて多くの方々にご来館いただき、盛大裡に終了できました。

この展覧会は、六巻全三十八場面・七十五メートルの絵巻を全部見せるというのが、最大の目玉でした。最初から最後まで余すことなく拝観できるという事もあり、皆様熱心にご覧頂きました。絵巻の中では、道真公の御生涯、崇りと北野天満宮造営、靈験記、さらには防府天満宮御創建の由来をご堪能頂けたのではないでしよか。



▶オープニング挨拶

ご来館された方から多くのお話を戴きました。市内の方からも、「天神様にこんなにたくさんのお宝があるとは知らなかった」といったお声も多く、また古い境内図をご覧になって「この建物この頃かあったんだ」と、近くに住んでいながら



なかなか気づく事のない防府天満宮の歴史と文化を知って頂く機会となりました。

期間中は雅楽演奏会や歴史講演会、子供たちには実際に絵巻を作る企画などさまざまな形で絵巻をもっと分かり易く、楽しく見て頂く為に多くの催し物が行われました。

最後に、この展覧会を企画頂きました山口県立美術館様をはじめ、ご協力頂きました御関係者各位に心よりお礼申し上げます。

◀雅楽演奏会
舞楽「蘭陵王」



▶美術館入口



▲75メートルの絵巻と展示ケース



▲一坂先生の歴史講演会



▲子供達による絵巻制作

松崎天神縁起絵巻七〇〇年 天神さまの里帰りだ

社務所だより

高円宮妃久子殿下下来防

十月一日より十日間、山口国体

が県下で開催され、天皇皇后両陛下を始め、御皇族の方々、御来県遊ばされました。

防府市には五日、高円宮妃久子殿下



▲ブラジル山口県人会御一行様



が、自転車競技激励に御成りになりました。当宮では、総代、敬神婦人会の神社関係者を始め、また当日来宮されていたブラジル山口県人会の皆様合わせて約二百名と共に沿道に並び日の丸を振って御送迎申し上げました。御皇室の弥栄お祈り申し上げます。

南相馬市長桜井勝延氏来宮

十一月六日、東日本大震災復興支援シンポジウムの為来防。当宮を参拝され、宮司と面会し被災地の現況などお話を伺いました。



▲南相馬市長（中央）と共に

奉納相次ぐ

神恩感謝

十月二十四日、防府市在住の方から「こうして今の私が長生き出来ること、また、兄弟1人も欠けることなく幸せがあること

は、みな天神様の御加護のお蔭。」神恩として金五百万御奉納されました。御兄弟一家の益々のご隆昌をお祈り申し上げます。

作曲家鈴木淳氏

早大グリークラブOB愛唱歌奉納

十月二十五日、作曲家鈴木淳氏

（宮司の叔父）が「防府天満宮展」を盛り上げようと、早稲田大学グリークラブの同窓生等十一名と先生が作曲した愛唱歌「友」立ち止まればいいさ」の二曲を自ら指揮を執り奉納頂きました。最初に奉納した「友」は、夫人で作詞家の悠木圭子さん（防府市出身）との合作で、ふるさとへの思いを込めた、どこかなつかしい曲です。



動画サイト「ユーチューブ」で紹介されておりますので、是非ご覧下さい。

日誌抄（平成23年）

6月1日 梅ちぎり

4日 市役所ボランティア五十名梅林整備奉仕

12日 広島県福山市暮山神社社氏子会四十名正式参拝

19日 表千家青年部チャリティー茶会

25日 天神市、月次茶会・裏千家末富宗寿先生御奉仕

30日 名越大祓・お田植祭奉納清書展審査会

7月18日 防府市佐波、松崎両地区子供会清掃奉仕

25日 天神市、月次茶会・裏千家陶山宗英先生御奉仕

8月1〜2日 子ども教室

8月3〜5日 御誕辰祭（夏祭）

3日 万灯祭・奉納清書奉告祭表彰式・子供樽みこし・カラオケ大会

4日 大茶碗茶会山本社中百次会御奉仕

4日 豊穰祈願祭・夫婦円満祈願祭・茶道大会・歌謡コンサート・浴衣茶会敬神婦人会奉仕

5日 当日祭・弓道大会・邦楽コンサート・少年剣道・クラブを楽しもう・和太鼓奉納演奏・大花火大会

9日 大阪国学院にぎにぎ会八名正式参拝

12日 酒垂会

25日 天神市、月次茶会・専心小笠原流煎茶山口県中部支部御奉仕

9月1日 式典保存委員会・お手廻り保存会宣誓式

2日 大島郡白鳥八幡宮二十九名正式参拝

4日 お籤上げ神事

10日 第七回勝ち牛杯氏子対抗ゴルフ大会

18日 御分霊式

22日 11月6日 防府天満宮展

23日 於山口県立美術館

25日 秋季祖霊大祭・海軍電信兵慰霊祭

25日 秋祭、天神市、月次茶会・裏

絵画奉納

十月二十五日、全国のお祭りを題材として絵画制作されておられる日本画家の藤井あけみ女史（滋賀県在住）が、「御神幸祭（裸坊祭）」絵画二点をご奉納いただきました。藤井さんは、「何年か前に一度訪れた時、たまたま御神幸祭だった。その時の光景を描いたが、奉納の念願叶って非常にうれし」と話されていました。



（株）ブリヂストン防府工場
御網代輿台車車輪ゴムクローラー
二十七年ぶり新調

十一月十一日、御神幸祭（裸坊祭）を前に、標記奉納があり、多

胡和徳工場長参列のもと奉納奉告祭を執り行いました。



台車車輪接地部分は、以前は鉄で覆われていましたが、御帰還時に通る商店街がカラー舗装になった為、昭和五十九年に舗装を痛めないようにと、同社が特殊加工を施した特注ゴム製（ゴムクローラ



ー）で覆い御奉納頂きます。御奉納誠に有難うございました。

錦鯉奉納

十一月一日、天満宮下にある渡辺養魚場様より錦鯉九尾が茶室芳松庵池に奉納されました。

ご結婚おめでとう（神社挙式分）

| | | |
|-------|-------|------------------|
| 平成23年 | 6月4日 | 田中 昭徳・絵梨子 |
| | 5日 | 河杉 維彦・直子 |
| | 10日 | 梅田 勝利・美穂 |
| | 11日 | 江隅 大輔・智美 |
| | 12日 | 小野 泰之・康子 |
| | 14日 | 浦田 秀則・範子 |
| | 26日 | 羽倉 洋行・由紀子 |
| | 28日 | 越智 晋也・忍 |
| | 29日 | 岡村 慎一・ありさ |
| | 7月2日 | 中間 秀明・由貴子 |
| | 17日 | 中川 正明・真弓 |
| | 24日 | 松野 修平・実起 |
| | 8月14日 | 嘉村 豊・彩 |
| | 20日 | 山根 清悟・五月 |
| | 22日 | 大橋 輝道・宝恵 |
| | 9月3日 | 市山 智土・由美 |
| | 19日 | 鶴岡 慶治・響子 |
| | 23日 | 見延 豊・智子 |
| | 25日 | 林 直彦・京子 |
| | 10月2日 | 藤山 年博・千代 |
| | 8日 | 藤山 直春・寿枝 |
| | 25日 | 國元 一人・広子 |
| | 15日 | 菊村 則行・里香 |
| | 23日 | フランケッティ・フラントツ・陽子 |
| | 15日 | 桑原 勝美・容子 |
| | 23日 | 古石 徹・朋代 |
| | 30日 | 河川 浩之・恵理 |
| | 15日 | 藤岡 哲史・麻理子 |
| | 15日 | 村川 祐輔・惟 |
| | 15日 | 廣嶋 篤志・智子 |
| | 19日 | 友廣 大輔・麻世 |
| | 22日 | 藤原 直樹・聖子 |

お二人の末永いお幸せをお祈り致します

| | | | |
|-------|-------------------|-------|--|
| 12月1日 | 破魔矢奉納 | 29日 | 千家山本社申百次会御奉仕 |
| 5日 | 例祭併せ神宮大麻頒布始祭 | 30日 | 敬神婦人会研修旅行 |
| 8日 | 崇敬会研修旅行 | 10月1日 | 花神子社参式役付児童説明会 |
| 9日 | 合格はちまき洗濯 | 2日 | 印章祭 |
| 15日 | 煤払い | 3日 | 出雲大社宮司千家尊祐様正式参拝 |
| 20日 | 天神おんな神輿写真コンテナス表彰式 | 8日 | 兼務社佐波神社例祭 |
| 25日 | 天神市、古絵馬焼納神事 | 9日 | 花神子社参式 |
| 28日 | 正月巫女奉仕者説明会 | 16日 | 愛情防府フリーマーケット協賛書道パフォーマンス大会 |
| 31日 | 大祓式 | 25日 | 天神市、月次祭・三奏亭買茶流清月会国貞喜雲先生御奉仕、作曲家鈴木淳と早稲田大学クリクラブOB十八名愛唱歌奉納 |
| | | 30日 | 毛利家秋祭 |
| | | 11月3日 | 注連縄奉製・山口市大内御堀管内地区崇敬者二十名御奉仕 |
| | | 17日 | 注連縄取替え・大職立て・大分県大分市春日神社二十五名正式参拝 |
| | | 18日 | おはげ・大小行司夜々語り |
| | | 20日 | 第七回天満宮杯松崎・佐波地区子供会キックベースボール大会・おんな神輿説明会 |
| | | 22日 | 山口県神職夫人の会十八名正式参拝 |
| | | 24日 | 御神輿蔵出し・大祓 |
| | | 25日 | 月次祭・御神幸祭前夜祭 |
| | | 26日 | 当日祭・御神幸祭（裸坊祭） |
| | | 27日 | 御神幸祭報賽祭神上式 |
| | | 28日 | 愛媛県松山市履脱天満宮総代会三十三名正式参拝 |
| | | | 御神輿蔵納め |

初詣ののご案内

新年の幸せを願う当宮へ
御参拝下さいますよう
ご案内申し上げます。



平成二十四年年始行事案内

受験合格・学業成就・家内安全・交通安全・無病息災など年頭の御祈願祭をお勧めいたします。

ご希望の方は、同封の「新春に祈りをこめて」の初詣祈願受付書や厄除祈願祭の申し込み用紙に必要事項ご記入になりご持参下さい。御参拝できない時は、郵送でも受け付けております。

尚、元日から三日まで当宮周辺は交通規制がありますので「初詣駐車場案内図」をご覧頂き、安全にご参拝下さい。



▲当天満宮の初日の出(今年)

初詣祈願祭のご案内

事業所の皆様へ
新しい一年の企業繁栄、商

売繁盛、無事息災を祈り、事業所の皆様おそろいで当宮へ御参拝を下さいますようご案内申し上げます。

ご予約を受け付けておりますので、詳しくは社務所までお問い合わせ下さい。
昭和二十七年生まれ
辰年の皆様方へ

来年還暦をお迎えになられる方に「還暦祝」のご祈願を致します。

赤色の物を贈る習慣は、赤子に帰ることに由来し、魔除けの意味もあり、当宮では特別に『還暦赤守』を授与致します。



初穂料 千円

是非とも、ご家族、ご友人と共にご参拝下さい。又、同窓会やグループでの申し込みも受け付けております。



▶書き初め会
1月1〜3日



▶新始式 1月5日



▶七草粥の会
1月7日



▶節分祭牛替神事
2月2・3日



▲弓始式 1月9日

ひたぶる

権祢直 一木孝史

人間には必ず節目が存在する。何か事を起こすとき、結婚、出産、家を建てる等、これらは大きな節目であろう。もちろん日常生活にも小さな節目があり、起床、食事、学校、仕事など一つ一つの行動がすべて節目である。

しかし、最近この節目がおろそかになり、何処が節目なのかわからなくなってきたように思う。

例えば葬儀に参列した際に必ず頂くのが清めの塩、近年これが無くなった。自宅に入る前に撒くこの塩も言ってみれば節目の行事である。正常な心でいられない場所から、普段の生活の場に戻る為には何か節目が必要なはずである。霊が取り憑かないように塩を撒くのではない。なぜ私たちの祖先がわざわざそういう行為を行ってきたのか。この清めの塩は、目に見えない心の作用を、実に繊細な日本人の心が導き出したすばらしい節目の作法と言えよう。

人間はさまざまな場面において大きな決断を迫られるが、日々生活していく上で大切な節目をおろそかにし、後悔しないよう心がけたいものである。

さかたり第88号

発行所 山口県防府市松崎町十四ー一
防府天満宮社務所
電話 〇八三五ー二三一七七〇〇
FAX 〇八三五ー二五〇〇〇一